

けるしかないと話されました。そのためには、課題があっても完成させずに空欄が残っていても良いとのことで、それが、訓練や見直しに繋がり、更に訓練を重ねることが、地域のつながりを高めると言われました。そして福祉避難所については、高齢者や障がい児者等の個別避難計画で、福祉避難所施設との事前マッチングを行い、マッチングのできた者については、福祉避難所で直接避難を受け入れるとともに避難生活の場とする新たな方向性が示されたとのことでした。最後に鍵屋氏は、防災の決め手は「ご近所力」だと述べられ、災害や危機に強くなるためには、日常から人間関係、近所関係が良好で、安全安心の地域づくりを進めることが大切だと結ばれました。

後半のシンポジウムは、全国手をつなぐ育成会連合会・常務理事の又村あおい氏がコーディネーターを務められ、シンポジストの大阪府障害者福祉事業団・理事兼指導監査室長 岩城由幸氏からは、権利擁護としての意思決定支援や地域生活移行への取組についてのお話を、啓発キャラバン隊推進委員会リーダー・ピース&ピース代表 矢野一隆氏からは、身近な地域で障がい理解を深めるための啓発活動は人に向けての投資であり、その投資が支え合える地域づくりにつながることを、そして、一般社団法人アートスペースからふる理事長 妹尾恵依子氏からは、就労施設でアートを仕事に生き生きと活動するアーティスト(利用者)の様子やその作品の紹介、また、さまざまな事業を展開することで地域社会とのつながりを広げていることについて、それぞれお話がありました。

様々な分野の方々からお話を聞くことができ、身近な地域でつながりを深めるために必要なことや大切なことを考える良い機会となりました。そして、この分科会で学んだことを心に留めおき、「明日は我が身」のいつ起こるかかわからない災害に対する心構えや日頃の備えについても改めて見直してみようと思いました。



【第3分科会/シンポジウム】

## バレンタインコンサートを開催しました

法人事務局 道畑 有美香

2月17日(土)にドーンセンターで4年ぶりにバレンタインコンサートを開催しました。今年は、新型コロナウイルス等感染症予防により会員のみの参加となりましたが、大勢の方にご来場いただきました。

第1部は、ミセスグレース田中恵子様ピアノ演奏とダンスパフォーマーの酒匂由紀子様のユーモアあふれるコラボレーションです。最初に昨年話題となったドラマ「VIVANT」の挿入歌でもある「ラファミノフプレリユード「鐘」」の荘厳なピアノ演奏から始まり、「春よ、来い」では曲に合わせて春をイメージした優雅なパフォーマンスが披露され、「情熱大陸」では、みんなで手拍子をして会場内の雰囲気盛り上げていきました。次に、NHK朝ドラの挿入歌「東京ブギウギ」の力強く元気な歌と演奏があり、続いて「愛は勝つ」、「勇氣100%」では客席の皆さんもノリノリで一緒に歌われていました。



第2部は、NTT西日本大阪吹奏楽団のコンサートです。NHK朝ドラ挿入歌「ハッピー☆ブギ」の明るい曲から始まり「ぼよよん行進曲」や「アイドル」といった話題曲や運動会の行進曲などで使用される「アルセナール」など、なじみの曲が目白押しでした。

また、4年前も大人気のコーナー「指揮者になってみよう!」では、大勢の方が手を挙げられ、選ばれた5名の方が舞台上がりました。舞台上上がると客席に一礼をしてから、タクトを持ちます。タクトを持った瞬間!真剣な顔つきとなり、本当に初めて?と思うぐらい堂々と指揮をされていました。

指揮者コーナーのあとは、2023年「アレ」で有名になった球団の「六甲おろし」に続き、「エル・マンガ」、「マツケンサンバII」では、みんなで振りを真似したりと盛り上がりながらコンサートは終了となりました。が「まだまだ聞きたい!」の声があちらこちらであがり、その声に応じて、アンコール曲「ジャ